

拾石町防災ガイドマップ



風水害が起きたら

風水害の危険から身を守るには、日頃から地域の危険箇所を把握しておくことが一番大切です。

台風や大雨のとき

- ・梅雨前線や台風シーズンなどには、天気予報に注意
- ・危険だと思ったら早めに避難
- ・避難場所までの経路をあらかじめ確かめておく
- ・事前に、雨戸や雨樋などが詰まっていないか確認
- ・物干し竿や植木鉢などは室内に取り込む
- ・浸水の危険のあるところでは、食料品、衣類、寝具などを上階へ
- ・腰までの水深がある時は無理をせず、高いところで救助を待つ
- (※洪水時に歩ける水深は 50 ～ 70cm までです)

避難するときの 8 か条

- ① 安全な避難路の確認
- ② 正確な情報収集
- ③ 避難の呼びかけに注意
- ④ 早めの避難
- ⑤ 危険なところには近づかない
- ⑥ 屋外が危険なときは屋内待避
- ⑦ 動きやすい格好、二人以上で
- ⑧ お年寄りなどの避難に協力を

地震が起きたら

家にいる場合

- ① 机の下に身を隠す
大きな家具や窓ガラスなどから離れる
- ② 慌てず消火
消火は揺れが収まってから
- ③ ドアを開けて逃げ道を確認
- ④ 非常持出品の確保
荷物は最小限
- ⑤ 情報収集
テレビ、ラジオ、役場等からの情報に注意し、噂に惑わされない
- ⑥ 避難
電気のブレーカーを落とし、ガスの元栓は閉める。車は使わず徒歩
- ⑦ 隣近所の安否確認
我が家の安全を確認後、隣近所にも声をかけましょう

外出中

- ① 鞆などで頭を保護し、危険な場所から離れる
古い建物や看板、ブロック塀、電柱、自販機、山の斜面などから離れる
- ② 運転中は車を路肩に寄せる
エンジンを止め、揺れが収まるのを待つ
- ③ 車を置いて避難する際は、空き地に停車するか、もしくはキーをつけたまま路肩に駐車
車検証などの貴重品は持って出る

津波時エリア別避難方向

南海トラフ巨大地震が発生した際は、海拔 **4.5m** の高さまで津波が来ると想定されています。

エリア 1

- ① 浅岡、向イ地区
海拔 3m 地区で、津波が拾石川を遡上して冠水する可能性が高い地区。
→拾石神社 (素戔鳴神社) 高台 (建物は危険) 及び鶴ヶ浜団地の高台へ一時避難。
- ② 跳海橋南信号から拾石橋南西交差点までの市道から南地区 (第 4 分区・第 5 分区)
海拔 3m 地区で、津波が拾石川を遡上して冠水する可能性が高い地区。液状化現象の発生可能性危険地域。
→エリア内に高台はないので、エリア 3 地区を目指して一時避難。

エリア 2

- ① 跳海橋南信号から自動車学校東信号までの市道から北の名鉄電車線路まで海拔 4m 地区で、津波が拾石川を遡上して冠水する可能性がエリア 1 の次に高い地区。液状化現象の発生可能性危険地域。
→エリア内に高台はないので、エリア 3 地区を目指して一時避難。拾石川の橋を利用したの墓地等の高台への避難は、遡上津波による被災及び橋脚崩壊の可能性もあるため避ける。
- ② 拾石川西側地区
拾石川を遡上して冠水する可能性が高い地区。
→拾石川の橋を利用したのエリア 3 地区への避難は危険であるため、西山の高台へ一時避難。

エリア 3

名鉄電車線路より北側エリア
海拔 6m 地区で津波被害予測レベルは低い。ただし、津波予測が沿岸到着時高さ 4m 以上となれば、拾石川堰堤の決壊による浸水被害の可能性はある。
→津波の規模によっては、北方向へ一時避難。

注意する場所

- 細い道
近くの家が倒壊した場合、道がふさがれて通りにくくなる可能性あり。
- ブロック塀
大きな地震では倒壊する危険あり。
- 電線 (高圧線)
切れた電線は停電時でも感電の危険があるため絶対に近づかない。高圧線の落下にも注意。

凡 例	
	指定避難所
	福祉避難所
	指定緊急避難場所
	第一次避難場所
	津波避難ビル
	医療機関
	銀行 JA、がましん
	消防団器具庫
	大震災対策器具格納庫※
	防災資材
	消火器
	防火水槽
	耐震性貯水槽
	AED
	トイレ
	公衆電話
	子ども 110 番
	避難経路
	細い道
	ブロック塀
	高圧線
	海拔 4.5m

※大震災対策器具格納庫
可動式動力ポンプ、緊急用浄水装置、1t 水槽、消防ホース、救急箱、ろ過フィルター、プロパンガス、ロープ、車庫用ジャッキ、5t グルマジャッキ、チェーンソー、ノコギリ、スコップ、防水シート、10t 携行燃料缶、強力ライト、大ハンマー、ボルトクリッパ、つるはし、斧、掛矢、チェーンブロック、発電機、投光器、コードリールなど

連絡先と家族の情報

家族の集合場所	
集合場所ではできるだけ細かく (例)○○公園噴水前ベンチ	
避難所及び避難場所等	家族の集合場所

遠くの親戚・知人	
被災地同士はつながりにくい	
名 前	電話番号・携帯番号

かかりつけ病院	
病 院	電話番号

避難所・避難場所一覧

- 指定避難所
愛知工科大学・拾石町会館
- 福祉避難所
蒲郡跳海園 (障害者等避難所)
- 指定緊急避難場所
東浜公園・前田公園
- 第一次避難場所
蒲郡自動車学校
拾石神社 (素戔鳴)
- 津波避難ビル
蒲郡ポートレース場

緊急時連絡先	
災害対策本部 (災害時)	0533-66-1111
蒲郡市役所危機管理課	0533-66-1208
蒲郡市消防本部	0533-68-5119
蒲郡警察署	0533-68-0110
保健医療センター	0533-67-1151
蒲郡市役所水道課 (水道の不具合)	0533-66-1206
しおつ児童館	0533-68-8515
塩津小学校	0533-68-2509
塩津中学校	0533-68-2510
愛知工科大学	0533-68-1135
塩津公民館	0533-68-3819
中部電力 (株) 蒲郡サービスステーション	0120-985-612
NTT (電話の故障)	局番なし 113
NTT (災害時伝言ダイヤル)	局番なし 171